

授業科目名	日本語授業実践演習	単位数	1
担当教員名	南口順子・中野二郎・遠藤みどり	担当形態	オムニバス
実務内容 (実務家教員の場合)	外国人への日本語教育、日本語教師養成課程での教育経験を踏まえて指導に当たる。		
<p>「学位授与の方針」との関係 多様な人々や生命に対して、他者を認め、他者を排除せず、仲間を作るという星槎の三つの約束の精神に則って、共生社会の創造に貢献する姿勢を身につけていること。</p>			
<p>授業の到達目標及びテーマ この授業では実習全体を振り返り、客観的に自己及び他者の授業や教え方を分析し、改善方法を考えることにより、教壇実習での体験を、修了後各自がそれぞれの現場で生かしていく指針としたい。</p>			
<p>授業の概要 教え方に絶対というものはなく、教師は常によりよい授業を目指して研鑽を積んでいかなければならないと考える。そのために授業を行った後の振り返りというものが大切になってくる。授業を振り返る方法とは何か、授業を見直す視点として、授業の目標、授業活動、評価を一貫した流れとしてとらえていくことにする。 *実習を振り返る際、授業報告書・授業観察シート・学習者体験報告書・教育実習日誌、模擬授業・教壇実習ビデオ視聴によるFB等の課題を活用する。 この授業は「日本語教育実習」のフィードバックとしての位置付けである。</p>			
<p>授業計画</p> <p>第1回目：1-1「教え方を改善する」とは 第2回目：1-2「教え方を改善する」とは 経験からの学び 第3回目：1-3「教え方を改善する」とは 教師としての自分を知る①教育ストラテジー 教師としての自分を知る②ビリーフ 第4回目：1-4「教え方を改善する」とは 問題の発見と改善の流れ 第5回目：2-1「教え方を振り返る」振り返る5つの方法①チェックリスト 第6回目：2-2「教え方を振り返る」振り返る5つの方法②授業日誌 第7回目：2-3「教え方を振り返る」振り返る5つの方法③学習者アンケート 第8回目：2-4「教え方を振り返る」振り返る5つの方法④授業の録画・録音と文字化 第9回目：2-5「教え方を振り返る」振り返る5つの方法⑤教師同士の授業観察 第10回目：3-1「教え方を振り返る」①授業の構成：授業の目標 第11回目：3-2「教え方を振り返る」②授業の構成：授業活動 第12回目：3-3「教え方を振り返る」③授業の構成：評価の仕方（確認の仕方） 第13回目：3-4「教え方を振り返る」④教案を使って振り返る 第14回目：4-1「教え方を改善するための活動」①1つの課題をみんなで考える 第15回目：4-2「教え方を改善するための活動」②個々の課題を教師間で考え改善する</p>			
<p>スクーリングでの学修内容 スクーリングでは、1日目に第5回目～13回目までの振り返りの流れを体験し 2日目に第14回目～15回目の改善案を考えるにつなげていく 事前学修：実習の際に作成した課題に基づき実習を振り返る（教案、授業報告書、授業観察</p>			

記録他)

第1日目：日本語教育実習のスクーリング1日目～2日目（授業準備）のフィードバック
グループごとに実習報告をする（各自事前学修の振り返りの結果も報告）
教壇実習のビデオを見ながら、実習を振り返る
ビデオ視聴後、グループで問題点を話し合う

事前学修：各自、授業改善案を考えて来る。

第2日目：日本語教育実習のスクーリング3日目～4日目のフィードバック
一人ずつ改善授業を15分程度実施
コメントし合う
日本語教育実習報告書作成ガイダンス

事後学修：日本語教育実習報告書を作成する

*スクーリング両日ともアクティブ・ラーニングの手法を取り入れて授業を進める。
*実習で課した課題に基づき実習を振り返り、振り返りで得た気づきを報告書としてまとめる。今後の貴重なリソースとして実習生が活用していくことを目指している。

教科書

『みんなの日本語初級Ⅰ 本冊 第2版』スリーエーネットワーク

参考文献

増補改訂版『新・はじめての日本語教育2』増補改訂版『新・はじめての日本語教育Ⅰ』

学生に対する評価

スクーリング評価（50%）、科目修得試験（50%）を総合して評価する。